

イムマヌエル教報

2019. 8

イムマヌエル綜合伝道団

1947年7月1日第三種郵便物認可 2019年8月5日（毎月5日発行）

聖靈があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒1:8）

No.877

IMMANUEL

ただ尊きは育てたもう神なり

ブロックアドバイザー 川嶋直行



「私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。」（第一コリント三章6、7節）

*

文語訳では、「私は植え、アポロは水灌げり。されど育てたるは神なり。……ただ尊きは育てたもう神なり。」と訳されています。今年の三月、教会の猫の額ほどの芝生広場に、隣接地を与えて下さった主の御業を記念して、ぶどうの木を植えました。初めて間近で見たぶどうの木は、枯れ木のようでした。4月になると、何の変化もなく本当に生きているのかと心配になりました。しかし、やがて小さな芽が出、今では人間の背丈を超えるほどに成長しています。水やりと適度な剪定をしながら、秋の実りを楽しみにしています。

ぶどうの木を見ながら「成長させてくださる神」を思いました。イエス様は神の国を、地が人手によらず実をならせることに例えておられます。無論、これは人の働きを否定するものではありません。コリント教会は、パウロが伝道し、アポロが信徒教育を行い、プリスキラやアキラの愛の労苦により建て上げられました。人の働きと神の働き、両者が必要であることは言うまでもありません。しかし、それでも、「ただ尊きは育てたもう神なり。」とは、否定しようがない真理であると思うのです。

子育て中の親ごさんたちにとって、子どもたちの「成長」は大きな関心事であると思います。キリスト者に

とつて「靈的成長」や「教会成長」は大事なトピックです。どうしたら、人は成長し教会は成長するのでしょうか。いくら親や牧師が気を揉み、叱咤激励しても、それで成長することはないように思います。逆に、ストレスで倒れになつてしまうかもしれません。たとえ、強制されて目標を達成したとしても、その成長は火の試練に耐え得るものか真価が問われます。

「教育」とは、「その人が持つている潜在能力を引き出すこと」と言われます。人の靈的成長は、あくまでも自主的なものでなければ本物にはならないようです。そして、この自主的な力を引き出して下さる方は、父なる神、主イエス・キリスト、御靈の三位一体の神以外におられません。親や教師、牧師は、祈りとみ言葉の奉仕により、彼らの人格のうちにキリストが形造られるまで、忍耐をもって見守つて行きます。「成長させてくださるのは神」であり、親、教師、牧師は、あくまでもサポートする立場です。

残念なことに、コリントの教会には「パウロにつく」とか「アポロにつく」とか、人に依存する信者たちがいました。パウロは彼らを「肉に属する人」と呼んでいます。頭であるキリストに結びつこうとしないので、靈的成長はそこでストップしてしまいました。人ではなく、信仰によって神に繋がるサポートをするのが親、教師、牧師の役割です。もっと、成長させてくださる神に信頼し、ゆだね成長を楽しみにして待つ方が、良い結果を生むのではないかと、庭のぶどうの木に水やりをしながら思つた次第です。

- ただ尊きは育てたもう神なり……川嶋直行……1
- 西日本女性牧師研修会、JEF山形大会報告……2
- 教団運営委員会、沼津教会、プリンセル師追憶……3
- 海外トピックス、国内教会局、ベテルハウス……4
- ユースミッション、本の紹介、e ラーニング……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

目次

Immanuel

◆日程・7月1日（月）、2日（火）
 ◆会場・神戸「母の家ベテル」
 ◆テーマ・「説教」
 ◆参加者・近畿、中国、四国の諸先生、女性牧師部員（15名）
 ◆プログラム
 【一日目】午後5時「母の家」オ

全体の企画は生涯学習課の諸先生によってなされ、送迎を田辺寿雄師や岩上頼子師が担当下さい、研修の全体は野田容子師が担当されました。

◆日程・7月1日（月）、2日（火）
 ◆会場・神戸「母の家ベテル」
 ◆テーマ・「説教」
 ◆参加者・近畿、中国、四国の諸先生、女性牧師部員（15名）
 ◆プログラム
 【一日目】午後5時「母の家」オ

全体の企画は生涯学習課の諸先生によってなされ、送迎を田辺寿雄師や岩上頼子師が担当下さい、研修の全体は野田容子師が担当されました。

（第一テモテ四・15、16）
 昨秋、説教のご用に立つ複数の牧師夫人から説教を学びたいとの声が届き、国内局長・教育局長の導きで「牧師夫人研修会」が実施される事となりました。第一回は西の地区で小規模に行われました。女性牧師部に協力要請が届き、全部員が加わりました。

「これらのこと心を砕き、ひたすら励みなさい。……自分自身と、あなたの教えを聞く人たちとを、救うことになるのです。」

女性牧師部研修会報告

西地区での牧師夫人研修会

説教を語る時に 主の助けと恵みが

女性牧師部長 黒 瞳子

【二日目】朝の静まりの時。

田師）。（研修1）釣俊栄師（司会・寺村師）。分かち合い。閉会の集い（黒）。昼食後解散



具体的的な学びをしてくださいました。お一人のご用から、近く寄り添い助けられる主の事実や今後のための示唆や励ましを頂きました。研修会全体は主のご臨在のものと有益な学び、心開かれた交わりなどを頂きたいと祈っております。国内局のご支援に感謝致します。

日本福音連盟(JEF)山形大会

かつての殉教地で 御靈の実を結ぶ

JEF総会・聖会を開催

神戸教会 岩上祝仁

日本福音連盟（JEF）はきよめを標榜する教会・団体が集まり連携をとるために1951年に創設され、イムマヌエルは2013年から加入して、その交わりの中にある。JEFでは毎年6月に総会と聖会を合わせた大会を各地区持ち回りで行つており、今年はウエスレアン・ホーリネス山形南部教会を会場にして「聖靈が結ぶ御靈の実」をテーマに開催された。トヨタ自動車倉庫を改装した山形南部教会の真新しい礼拝堂で主の恵みに満たされた聖会が二晩続けて持たれた。

16日（日）は田中敬康牧師（イムマヌエル引退牧師）がみことばをディボーショナルに読みつつ、主の愛を受けて、主の愛に生きてゆくことが私たちの信仰生涯の鍵である。意識的に私たちが全てを捧げて主と共に歩んでゆくとき、私たちのうち聖靈が実を結んでくださることが語られた。

16日（日）は田中敬康牧師（イムマヌエル引退牧師）がみことばをディボーショナルに読みつつ、主の愛を受けて、主の愛に生きてゆくことが私たちの信仰生涯の鍵である。意識的に私たちが全てを捧げて主と共に歩んでゆくとき、私たちのうち聖靈が実を結んでくださることが語られた。



きよめの証しが語られ、普段の生活の中でこそきよめの恵みの真価が問わることが語られた。太田

正信先生（日本福音教会連合・勝山栄光教会）により「御靈の声に従順に聞き従う」ことの大切さがご自身の体験に基づき語られた。

特に御靈の声に謙虚に、そして悔い改めつ聞き従つては現代日本における福音宣教の困難の原因に語られた。

二日目の午前は、殉教地巡りの福連の理事長としてご奉仕された太田先生が勇退され、小菅剛先生（日本イエス・キリスト教団）がJEF新理事長として選出され、責任を担われることになった。二日目午後は、川上直哉先生（日本基督教団石巻教会牧師）によつて東北、特に山形におけるキリスト教の歴史が紐解かれた。江戸時代初期、東北ではキリスト教が製鉄産業の担い手となつてキリスト教の集落を形成していた。そこでは宣教師や司祭は年に数回、ミサの

ために入れるだけであり、信徒のリーダーが建てられて、学びを行なう。宣教活動や教会活動を信徒中に行なっていたことが紹介され、徳川幕府がキリスト教を禁教にし、最終的に米沢のキリスト教に迫害により殉教に終わる歴史が語られた。質疑応答では現代日本における福音宣教の困難の原因にまで話題が広がった。

これからの教団運営

共に考える時を

広報 大兼久芳規



ために、青年向け聖会や年会に並行することを準備中です。今後の準備と、青年への伝道が進められますようお祈りください。

組織改革検討小委員会

現在、牧師の高齢化と減少は、大きな課題です。各教会への伝道者の派遣の厳しさに加え、将来教団の運営委員選出にも、限られた人数からの選出に難しさが出てく

ることが考えられます。その対策として、現在14名の運営委員のスリム化の必要が出ています。2案ほどが検討されていますが、9月会「教団の組織改革」「総会期の期間」を中心には話し合われました。まず内山代表より、Iサムエル三〇章21～25節から「戦利品」を、

戦いに参加した者にも、そうでない者にも平等に分けられたことが語られました。その背後には、目

の前の課題に対してダビデの口からは「主」という呼び掛けが多く出て、不平等を訴える人々の口からは「私たち」という言葉が多い。神に仕える者の言葉と心に、主が絶えず中心であるときに、真の平等がもたらされると語られました。

初めにベテルハウス改修への献金（1,800万円）を支えてくださった神学院後援会への感謝状が年会検討委員会

国内教会局からのご報告

沼津教会の合流について

インマヌエル沼津教会は沼津シオン・キリスト教会に合流して新出発します

国内教会局長 岩上祝仁

よつてこの合流合併に導かれたことを覚え、今後もお祈りいただるためにこの記事を書きました。

また沼津シオン・キリスト教会では6月9日、インマヌエル教会からの転会式が行われました。集

まつた皆さんのが主の恵みに支えられ新しい教会生活をスタートしました。

二つの教会が一つになるのは簡単なようで簡単ではありません。互いに違いを認め合い、違ひを笑顔で受け入れ合つ、そんな再

出発の様子を荻野先生から伺っています。いまある沼津教会の納骨堂は葦山教会へ移譲し、さらに教

会堂はインマヌエルチャペルとしての改装工事を終え、新しい宣教の拠点として用いられます。イン

マヌエル沼津教会は終わったのでなく、主の恵みによる新しい信

仰のスタートを切ったとご理解ください。引き続きお祈りに覚えていただければ感謝です。

信徒局の今後

全国の教会の背後の篤いお祈りを感謝します。6月7日すべての手続きを終え、インマヌエル沼津キリスト教会が沼津シオン・キリスト教会に合流しました。開拓以来、インマヌエル沼津教会で心血を注いでこられた先生方や信徒の皆様の働きの尊さを覚えますと、寂しさや喪失感がないわけではありません。でも主の恵みと導きに

います。いまある沼津教会の納骨

堂は葦山教会へ移譲し、さらに教

会堂はインマヌエルチャペルとし

ての改装工事を終え、新しい宣教

の拠点として用いられます。イン

マヌエル沼津教会は終わったので

なく、主の恵みによる新しい信

仰のスタートを切ったとご理解く

ださい。引き続きお祈りに覚えて

いただければ感謝です。



呼ばれたプリンセル先生と

糸満教会 大山祥子

プリンセル先生は、貧しい人、病人、社会的弱者の立場にある

方々に惜しみなく愛の手を差し伸べる方でした。病院、老人ホーム、

身障者の施設訪問を通して多くの方々に福音を伝え、救いに導かれました。当時はまだハンセン病が

恐れられていた時代に沖縄北部にある施設を訪問し、出された茶菓を快く召し上がられました。

プリンセル先生召天直後の礼拝の献金がごに一枚のカードが入っていました。「あなたのやさしさにありがとうございました」と印刷された文字の下に「プリンセル先生へ」〇〇よりと書かれてありました。

還暦を過ぎた彼がプリンセル先生と出会ったのは彼が10代後半の青年の頃でした。極度の恥ずかしがり屋で人の顔を見ることも話すことができない彼が、召天されたプリンセル先生へ「あなたのやさしさにありがとうございました」とのカードにこめられた彼の思いに感激の涙が止まりませんでした。マタイ二五章40節

国内教会局から

教会建設の務めに
日常と非日常

ようやく梅雨が明け、夏の歩みに入りました。教会では様々とプログラムが計画されているでしようか。若い方々のためにもY.S.やグラム、普段は見ない景色もと異なる角度から語られています。その道中で地元では出会いいつもと違う顔ぶれやプログラム、普段は見ない景色。

(葛田崇志)



米国務省は6月21日、世界各国の「信教の自由」の状況をまとめた2018年版の年次報告書を発表。今年の報告書は、イスラム教徒主体の少数民族ウイグル族らが住む中国の『新疆ウイグル自治区』を特に取り上げ、信教の自由の侵害が悪化していると懸念を表明した。報告書によると、2017年4月以降、中国政府は推計で少なくとも80万人、最大で200万人以上のウイグル族などイスラム教徒を拘束。自治区の収容所では拷問が横行し、死者が出ているとの報告もあると指摘。また、中国国内のキリスト教徒に対する抑圧も激しさを増し、中国当局による地下教会の閉鎖や聖書の焚書、信者に対する信仰放棄の強要などが行われているとした。

報告書は、北朝鮮に関し、宗教的理由も含め投獄されている政治犯が8万~12万人にのぼり、遠隔地の政治犯収容所で過酷な処遇を

院で植物状態となっていたバンサン・ランベール氏（42）が、生命維持装置の取り外しから9日目となる7月11日死去した。ランベール氏は2008年、交通事故で脳に重度の損傷を負い四肢まひとな

そこで主と出会い、語りかけを頂くことができたならば、かけがえのない経験となりましょう。福音書に見る主イエスと弟子たちの関わりもそうだったようです。大きな祭があると、彼らは主イエスに導かれ、共にエルサレムに赴きます。

ようやく梅雨が明け、夏の歩みに入りました。教会では様々とプログラムが計画されているでしようか。若い方々のためにもY.S.やグラム、普段は見ない景色もと異なる角度から語られています。その道中で地元では出会いいつもと違う顔ぶれやプログラム、普段は見ない景色。

り、医師から回復の見込みはないと診断された。植物状態となつた。ベテルハウス専用の駐車場も同氏の延命措置継続をめぐっては、家族はもとより仏国民の意見も二分。法廷後見人でもあるランベール氏夫人は、書面には残されていなかったものの同氏が事故前、人工的に生かされるのは嫌だとはつきり意思表示していたと主張。これに對し、熱心なカトリック教徒である両親は延命治療を望み、法的措置によってこれまで5回に渡つて医師による生命維持装置取り外しを差し止めてきた。カトリック教会の教皇フランシスコも今年5月、ツイッターでランベール氏に言及。命は神からの贈り物であり、自然死を迎えるまで守り抜くことが必要だと訴えていた。数年におよぶ法廷闘争の結果、フランス最高裁判「破棄院」がランベール氏の生命維持装置停止を認める判決を下し、ランスの病院の医師たちは7月2日から装置の取り外しに着手していた。（平瀬聰樹）

ベテルハウスが研修棟として使用されるようになり早1年が経ちます。その間、試行錯誤を繰り返しながら、少しずつ改善して今日に至っています。利用状況としては、昨年のYSで先ず教団の青年達にご利用いただいたのを皮切りに、教団運営委員会を始めとする主に先生方の会議・研修、東京FMやCOGの青年たち、KGKの集会や交わり等、インマヌエル以外の青年たちに大変好評で、多くご利用頂いております。今年からは専任の管理者も与えられ、施設の管理が充実してきました。

かつての旧女子寮へは食堂棟の横から階段を下りるルートでしたが、神学院の教育環境を守るために、ベテルハウス案内図

出入り口を分けることに致しました。ベテルハウス専用の駐車場も完備しておりますので、神学院及びウエスレーチャペルの駐車場とは別にご利用できるようになっております（左の案内地図を参照）。

研修棟は2階建てで洋室10部屋と和室2部屋の全12室で最大宿泊人数は60名、ホールには楽器用のアンプ、電子ドラム、パワーポイント用の器材も揃っております。キッチンも必要な食器・調理器具が備え付けられ、自炊が可能です。また、シャワールーム、各部屋の洗面所、冷暖房も完備しています。外にはキャンプファイヤーができるスペースも確保しました。

お問い合わせは神学院学務課馬場満子 seminary@btc.jp.com です。



海外トピックス

受けていると指摘した。

■ 植物状態の仏男性、生命維持装置停止から9日目に死去
交通事故で脳に重度の損傷を負いフランス北東部ランスの病

これまでには、今治教会、下関教会、また東北聖会にて奉仕をさせていただきました。今治や下関では教会キャンプのお手伝い、また東北聖会でもC.S.部会での奉仕をさせていただきました。いずれも青年たちならではの行動力とア依デアで子どもたちもとても喜んでくれました。教会員の方々もそのような青年たちの姿に励まされた

「なんと美しいことか。良い知識を伝える人たちの足は」

ユースミッションご案内

今回は小松教会で奉仕と 信仰のチャレンジを

越谷教会 川村和臣

とも伺っています。また、奉仕者同士の交わりも幸いで銭湯や奉仕者の後「ちょこっと観光」に行つたことなど楽しい思い出です。

A group of approximately 15-20 young children are seated in rows of wooden pews in a church. They are facing a teacher who is standing at a wooden podium on the left side of the room. The teacher is wearing a pink shirt and dark pants. The room has large windows with blue and white striped curtains. A simple wooden cross is mounted on the wall above the podium.

各程度です。今回は喜田取義先生が引率してくださいます。ぜひ青年たちをお送りください。個々の教会からの参加だけでなく、近隣教会との合同、教区単位での参加も歓迎します。

なお、YMは原則ボランティア（手弁当）となります。交通費、食事、宿泊等はすべて自分たちでまかない、教会の負担にならないようにします。費用も各自ですが青年部より補助もあります。青年部の働きのためにお祈りください。

今回の小松教会での具体的な活動は24日(土)に現地集合。打ち合わせや準備を行います。25日(日)の礼拝では証しや讃美の奉仕、午後は教会学校のお手伝い(ゲームや遊び)、となります。募集対象は高校生から社会人で4~6名です。

とも伺っています。また、奉仕者の同士の交わりも幸いで銭湯や奉仕の後「ちょこっと観光」に行つたことなど楽しい思い出です。

求道者の方々だけでなく、信徒の皆さんが読んでもとても恵まれます。今回は『人生を分ける日』とちょっとと思われぶりの題がついでいます。何よりうれしいのが300円という価格。いのちのことば社から出でています。ぜひ伝道にご活用ください。（矢木良雄）

伝道のために バイブルメッセージ集 福音を伝えよう!

「世の光」「ライフライン」の メッセージによる説教集

- ・ 聖書読解法の5つの法則を用いて講師が読み、またご自身が読みます。
- ・ 1週間に2章のペースで、新しい動画とテキスト資料がアップされます。
- ・ 質問は、担当者にメールで送ります。

・聖書読解法の5つの法則に馴染むために、まず12の動画を見ていただきます（2200円）。一つの動画は説教のようになっています。わかりやすく恵み豊かです。

9月17日から11月11日

・いよいよ8週間の「聖書セミナー
マルコの福音書」が始まります
(7800円)。

エラーリングご案内

新インターネット聖書セミナー① マルコの福音書を読む

講師：藤木 満先生

e ラーニング担当 大津博子

・受講生は各自「自分で「note」にアクセスして購読料を納めます（支払にはクレジットカードと携帯電話のキャリア決済、プリペイドカードのVプリカ等が使用できます）。別途通信費がかかります。

以前eラーニングで「聖書読解法」と「マルコの福音書」を学びましたが、さらに充実した動画と資料が提供されます。ご希望の多かった「講座終了後の動画視聴や資料閲覧」も可能になりました。

てください。匿名で講師に届けられ回答がコースにアップされます。動画や資料はセミナー終了後もいつでも何度でも視聴できます。履修にあたって（詳しくはチラシ）

卷頭言

キリストが形作られるまで



世界宣教局
葛田敬子



「あらゆる恵みに満ちた神、神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみの後で回復させ、堅く立て、強くし、不動の者としてくださいます。」(ペテロ五章10節)
今月末には、初めてのザンビア

広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

宣教訪問団を送り出します。宣教師の様子や働きとともに、宣教師の御存在 자체からも、きっと色々なことを気づき、見聞きし、経験してこられることでしょう。

高橋生の時に教会の先生に薦められた本がありました。中国奥地に行かれた宣教師の自伝です。一冊目は、信仰から離れた筆者が生ける主との交わりに導かれ、宣教師として出發するまでの青年期の証です。すばらしい祈りの答！という恵みを経験したすぐ後に、扉がガシャンと閉められるような道を通りながら、主の眞実を味わつてゆかれる証は、信仰の幼い私は大きな刺激でした。

程で、筆者的事情を「傲慢で、不従順で、宣教地でトラブルを起す可能性がある」と評した人がいました。いろいろなことがあります。自分が、最終的に、弁解や詮索をせず、一切を主の御手に委ね、謙つて自分と向き合いながら準備を続ける決断をします。その後、主は恵み豊かな方法でそれを乗り越えさせてくださいました。それで、宣教地での様々な経験を経て、ある時のことがどんなに貴重で必要な準備であったかと振り返ることになつたと証しておられました。

ある聖徒が「すべてのキリスト者に『神は工事中』という標識が貼られてしまうべき」と表現しておられます。救いに与った神の子たちひとりひとりの内側に「キリストが形造られるまで」神さまは働き続けてくださいます。牧師であり、宣教師であれ、キリスト者はすべて完成に向かう「途上」で工事中であることを思います。何事かが成し遂げられるに勝り、大きな数字が結果となるに勝り、主はひとりひとりの神の子どもたちの成長と完成をこそ願っておられることがあります。背中を向けて真反対に歩き出した預言者ヨナを惜しまれた主は、様々な戦い、困難、試練、涙、また喜びや勝利を通して、私たちを練り愛をもつて造り続けて下さる方で

6月のサンビームは草焼と美しさが増す季節です。今までプランケツト一枚で過ごしていましたが、寒さで疲れず流石にもう一枚出しました。寒い季節ですが6月に入り畑からの恵みにあづかっています。今、家の掃除を手伝ってもらつている方がとても上手に畑をしてくださる方で、人参、白菜、キュウリなどの野菜をオーガニックでいただくことができます。

クリニックは子ども健康週間やその他エイズケアのキャンペーンがあり、スタッフ不足の中、やや忙しい月となりました。産科病棟では緊急搬送や吸引分娩のケースがありましたが、母児たちは守られ感謝でした。

クリニックの環境衛生を担当している方が急遽転勤となりました。この方は比較的新しいスタッフでしたが、家族の都合上、来て間もなくではありますでしたが転勤となりました。感謝なことに何日かしてすぐに、彼のいたポジションに新

しい方が与えられました。初め聞いた情報によると、この方は首都ルサカ（バンバ族・ニヤンジャ族）から来るということで、トンガの田舎の地でうまくはまつていけるかと心配しましたが、とてもフレンクな方で初日からスタッフの中へ溶け込んでいました。もともとの出身は私たちがいる南部（トンガ族）の方で言葉の壁もなく彼のホームグラントに戻ってきたと喜んでいました。また街とは違った多種多様に業務をこなしていくことが求められていくことにやる気を表していました。

貴いお祈りの手が挙げられ続けてまいりましたKCC本部と青年教育館、並びに宣教師館が完成しました。

6月末に引っ越しして新会堂にて最初の礼拝が6月30日の聖日に献げられました。私の不在の中で引っ越し越し、これまで何度もそのような中を通過しながら今日まで働きを継続させて頂いてきましたので、主がこの度も無事に全てを守り、全荷物を新しい建物に移し終えることができますよう祈つております。まだ水の供給が弱いながら電気はきているということでした

が、ヴァンディ師は新しい場所での生活設定に超多忙とのこと、また案じた通り、まだインターネットが通じていない問題のため、連絡を取ることが難しい状況です。速やかに生活環境が整えられますようお祈り頂ければ感謝です。

貴いお祈りの手が挙げられ続けてまいりましたKCC本部と青年教育館、並びに宣教師館が完成しました。



タス宣教師御一家と宣教師たち

5つのウェスレян聖書大学の職員が4年に一度集まって開催される全国職員研修会に常喜が出席しました。2泊3日で開かれたこの研修会には合計25名が出席し、各種セミナーを通して学び、またお互いの現状を知り、励まし合うと引きとなりました。セミナーでは、二十一世紀の学生たちに教えるということがどのようなことなのかということについて、現代のフィリピン学生たちの傾向性などを紹介しながら心理学者のサム・アキノ先生からお話を伺いました。



聖書大学のプロモーションのために東マニラ教区にあるタイタイ・ウェスレян教会を訪問し、奉仕しました。タイタイ教会は宣教車がやつと通れる程の路地にあります。まだ水の供給が弱いながら電気はきているということでした

が、ヴァンディ師は新しい場所での生活設定に超多忙とのこと、また案じた通り、まだインターネットが通じていない問題のため、連絡を取ることが難しい状況です。速やかに生活環境が整えられますようお祈り頂ければ感謝です。

所用でフィリピンに行かれるので祈つて欲しいとのお願いがありました。それとともに昨晩6月最後の聖日の夜、WGMの宣教師として派遣されておりましたカンボジア人、タイス師ご夫妻とご一家が最初の2年のご用を終えて米国に報告帰国されました。今度いつはお聞きしておりますが、彼らの気持ちは再びカンボジアでの働きを進めたいとのお気持ちです。

カンボジア宣教に必要なお二人の今後の方向づけのため、お祈り頂けましたら感謝です。働き人が手薄になる暫くの間、サタンの攻撃から全教会と信徒方が守られるよう進めてくださるようお祈りください。(ピリピ二・12。(写真はタイス宣教師御一家と宣教師たち)

月末にはマニラ日本語キリスト教会で奉仕をしました。今回は、ナザレン・セミナリーで学ぶ後藤献五郎さんと稻葉先生御一家を宣教車でお連れし出席することができました。多数の新来会者のせいか、いつもよりも出席者がたくさんあるなか、常喜は第一列王記一七章から説教をしました。礼拝後には、聖書を改めて読み直した

いと話してくださった未信者の方からの反応に御名を崇めました。その後には、聖書を改めて読み直したところ、例年ない梅雨前線の南下と停滞減少に熱帯低気圧の雨雲が繋がり、4・5日おきに局地的な大雨が降り注ぐ不安定な天候が続いています。突然の大雨に、ハイクの椅子の下から雨具のカッパを取り出し、あつという間に着替える光景はこの時期の風物詩です。そのような中、雨の晴れ間となつたペントコステの日曜日(6月9日)には、新しい場所で会堂移転記念礼拝を守ることが許されました。神さまの恵みとあわれみ、その後の多くのお祈りに支えられ、教



CAMBODIA

カンボジア

薦田緑乃*2019年7月3日



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2019年7月8日



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2019年7月6日

たちが前に出て、レイモンド牧師に祈つて頂きました。レイモンド牧師は、常喜の教え子であり、このタイタイ教会には先月赴任したばかりでした。前任地は大きな教会で副牧師として働いていたため、まだ慣れない環境で、色々と不安や課題があり、礼拝後には彼からそうした話を伺い、お祈りしました。困難、課題を乗り越えながら、彼が神に委ねられた教会を愛し、仕えていくことができるようにお祈りください。

月末にはマニラ日本語キリスト教会で奉仕をしました。今回は、ナザレン・セミナリーで学ぶ後藤献五郎さんと稻葉先生御一家を宣教車でお連れし出席することができました。多数の新来会者のせいか、いつもよりも出席者がたくさんあるなか、常喜は第一列王記一七章から説教をしました。礼拝後には、聖書を改めて読み直したところ、例年ない梅雨前線の南下と停滞減少に熱帯低気圧の雨雲が繋がり、4・5日おきに局地的な大雨が降り注ぐ不安定な天候が続いています。突然の大雨に、ハイクの椅子の下から雨具のカッパを取り出し、あつという間に着替える光景はこの時期の風物詩です。そのような中、雨の晴れ間となつたペントコステの日曜日(6月9日)には、新しい場所で会堂移転記念礼拝を守ることが許されました。神さまの恵みとあわれみ、その後の多くのお祈りに支えられ、教

会の愛兄姉方が集会毎に、荷物の搬出・搬入のご奉仕を担つて下さい、ここまでたどり着くことができました。当日は、長い間、来ていました。特に、川路姉がお祝いに駆けつけてくださいました。特に、川路姉が台南聖教会・日本語礼拝を代表してのお祝いの挨拶と共に、集会と働きの様子をPPTのスライドを交えながら報告、証してくださいなり、礼拝後の感謝愛餐の時にも終りまで、愛姉を中心として交わりの輪が広がっていました。特に、台中教会のメンバーにとって興味深かったのは、信徒として教会の働きを担う際の課題や取り組みについて、愛姉が教会献身に導かれたきっかけとその後の歩みについて、教会内の神学校でどのような学びと訓練があったのか、どのように家族の理解と協力を得ているかなど多岐に渡り、自分たちができる範囲の奉仕を忠実に果たすことが大切で、それが主イエス様に、教会に仕えることになるのだという信仰生活の基本に気づき、大きな領悶が与えられました。

次週の台南日本語礼拝には、こんどは南部への出張の帰途、台中教会の葉涼麟兄が立ち寄り、先週の感謝と共に、台中教会の歩みを報告、証詞して下さり、台中教会と台南礼拝との生きた証人の相互交流、お互いに理解を深め、祈り合つ、恵みの機会となりました。教会が新しい場所に移り、少しづつ移転したことが周囲に浸透し

6月3日出国、アブダビ経由でナイロビ到着。淨水器他荷物の受け入れ、バスポートの有効期限等課題はありましたが無事出国。乗組ぎも順調。入国審査、荷物の



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子*2019年7月8日

搬出・搬入のご奉仕を担つて下さい、ここまでたどり着くことができました。特に、川路姉がお祝いに駆けつけてくださいました。特に、川路姉が台南聖教会・日本語礼拝を代表してのお祝いの挨拶と共に、集会と働きの様子をPPTのスライドを交えながら報告、証してくださいなり、礼拝後の感謝愛餐の時にも終りまで、愛姉を中心として交わりの輪が広がっていました。特に、台中教会のメンバーにとって興味深かったのは、信徒として教会の働きを担う際の課題や取り組みについて、愛姉が教会献身に導かれたきっかけとその後の歩みについて、教会内の神学校でどのような学びと訓練があったのか、どのように家族の理解と協力を得ているかなど多岐に渡り、自分たちができる範囲の奉仕を忠実に果たすことが大切で、それが主イエス様に、教会に仕えることになるのだという信仰生活の基本に気づき、大きな領悶が与えられました。

や貿易会社など、日本との通商が多くある会社が多くあり、自分のビルの中に教会が、しかも日本語の教会が引っ越してきました。特に、台中教会のメンバーにとって興味深かったのは、信徒として教会の働きを担う際の課題や取り組みについて、愛姉が教会献身に導かれたきっかけとその後の歩みについて、教会内の神学校でどのような学びと訓練があったのか、どのように家族の理解と協力を得ているかなど多岐に渡り、自分たちができる範囲の奉仕を忠実に果たすことが大切で、それが主イエス様に、教会に仕えることになるのだという信仰生活の基本に気づき、大きな領悶が与えられました。

今まで以上に懐かしそうに声を掛け、現況を尋ねてくださいました。また、このオフィスビルには、旅行会社や貿易会社など、日本との通商が多くある会社が多くあり、自分のビルの中に教会が、しかも日本語の教会が引っ越してきました。特に、台中教会のメンバーにとって興味深かったのは、信徒として教会の働きを担う際の課題や取り組みについて、愛姉が教会献身に導かれたきっかけとその後の歩みについて、教会内の神学校でどのような学びと訓練があったのか、どのように家族の理解と協力を得ているかなど多岐に渡り、自分たちができる範囲の奉仕を忠実に果たすことが大切で、それが主イエス様に、教会に仕えることになるのだという信仰生活の基本に気づき、大きな領悶が与えられました。

■会計報告6月分
宣教献金 一、一九四九、四二五円
月平均 一、一九四六、九四三円

まず日本大使館で有効期限が残り3か月のパスポートを更新。本当は有効期限が6か月以上ないと入国できないのですが、問題は3年分の就労ビザがあと1年半くらいある状態でそのパスポートに載っていること。新しいパスポートに就労ビザの転記がないとそちらの方が入国の際に問題になります。ナイロビ在住の方にアドバイスを頂き、就労ビザの記載があることを優先しました。しかし入国審査を終了するまで落ち着けず、ずっと祈つておりました。が、拍子抜けするほどスマーズに入国でき感謝でした。バスポートの申請発行も、遠隔地にいることを考慮してください、最短で終了。続いて移民局で、新しいバスポートへの就労ビザの転記と、外国人登録証の申請をしました。これも大変順調にいきました。都心部の移動

6月3日出国、アブダビ経由でナイロビ到着。淨水器他荷物の受け入れ、バスポートの有効期限等課題はありましたが無事出国。乗組ぎも順調。入国審査、荷物の

てきたようです。前の場所とそれほど離れていないため、普段使ううちに路上に出て驚きました。

今まで以上に懐かしそうに声を掛け、現況を尋ねてくださいました。また、このオフィスビルには、旅行会社や貿易会社など、日本との通商が多くある会社が多くあり、自分のビルの中に教会が、しかも日本語の教会が引っ越してきました。特に、台中教会のメンバーにとって興味深かったのは、信徒として教会の働きを担う際の課題や取り組みについて、愛姉が教会献身に導かれたきっかけとその後の歩みについて、教会内の神学校でどのような学びと訓練があったのか、どのように家族の理解と協力を得ているかなど多岐に渡り、自分たちができる範囲の奉仕を忠実に果たすことが大切で、それが主イエス様に、教会に仕えることになるのだという信仰生活の基本に気づき、大きな領悶が与えられました。

今まで以上に懐かしそうに声を掛け、現況を尋ねてくださいました。また、このオフィスビルには、旅行会社や貿易会社など、日本との通商が多くある会社が多くあり、自分のビルの中に教会が、しかも日本語の教会が引っ越してきました。特に、台中教会のメンバーにとって興味深かったのは、信徒として教会の働きを担う際の課題や取り組みについて、愛姉が教会献身に導かれたきっかけとその後の歩みについて、教会内の神学校でどのような学びと訓練があったのか、どのように家族の理解と協力を得ているかなど多岐に渡り、自分たちができる範囲の奉仕を忠実に果たすことが大切で、それが主イエス様に、教会に仕えることになるのだという信仰生活の基本に気づき、大きな領悶が与えられました。

今まで以上に懐かしそうに声を掛け、現況を尋ねてくださいました。また、このオフィスビルには、旅行会社や貿易会社など、日本との通商が多くある会社が多くあり、自分のビルの中に教会が、しかも日本語の教会が引っ越してきました。特に、台中教会のメンバーにとって興味深かったのは、信徒として教会の働きを担う際の課題や取り組みについて、愛姉が教会献身に導かれたきっかけとその後の歩みについて、教会内の神学校でどのような学びと訓練があったのか、どのように家族の理解と協力を得ているかなど多岐に渡り、自分たちができる範囲の奉仕を忠実に果たすことが大切で、それが主イエス様に、教会に仕えることになるのだという信仰生活の基本に気づき、大きな領悶が与えられました。

今まで以上に懐かしそうに声を

お祈りの課題

ザンビア（根廻）

◆就労ビザが受け取れた感謝

◆ジエンボでの生活が守られるよ

◆主を証していけるように

◆ザンビア（富澤）

◆訪問団受け入れ準備のため

◆クリーツックが支えられ主の栄光

◆健康が支えられるように

◆カンボジア（葛田縁乃）

◆新しい場所に展開するKCCの教会建設に御靈の豊かな御働きが進められるように

◆新生活が開始したヴァンディ師が現せられるように

◆御一家の生活状況に水、電気、パソコン機器が有効になり、働きに支障なく整えられるように

◆薦田の健康が強められ、靈肉ともに支えられるように

◆香港（鹿島）

◆9月からの相応しい礼拝場所が九龍サイドで備えられるように

◆中国返還後22年を迎えた。50年間の香港の一国一制度が守られるように

◆広州への出入りと、聖研祈祷会が祝されるように

◆ケニア（葛田就子）

◆再赴任でき諸手続きも守られた感謝

◆広州への出入りと、聖研祈祷会が祝されるように

◆香港（鹿島）

◆9月からの相応しい礼拝場所が九龍サイドで備えられるように

◆中国返還後22年を迎えた。50年間の香港の一国一制度が守られるように

◆広州への出入りと、聖研祈祷会が祝されるように

◆香港（鹿島）

◆9月からの相応しい礼拝場所が九龍サイドで備えられるように

◆中国返還後22年を迎えた。50年間の香港の一国一制度が守られるように

◆広州への出入りと、聖研祈祷会が祝されるように

◆香港（鹿島）

◆これから3か月間のスワヒリ語の学びが祝されるように

◆テヌウェク病院の働き人（ルルケニア）

◆これから3か月間のスワヒリ語の学びが祝されるように

◆GYMと設立しようとしている国際教会のために暫定的に集会場が確保できた感謝

◆8月末に予定されている海外からの青少年のためのキャンプが祝されるように

◆教会建設の準備のためにより深い一致が与えられ、GYMの働きの推進に繋がるように

どこか偽りな気がします。
牧会臨床の世界で再考を促されているのが自死の問題です。個々の事例を「自死＝罪」という構図で片づけてよいのか。この問題についてキリスト教界は必ずしも対応ではありませんでした。イエスさまの恵みはどこまで届くのか。制限を設けているのは人間ではないのか。避けるべきことですが、ユダの生きた世界は究極の当事者です。人間にできることは、当事者に寄り添えるだけです。

自分はユダに寄り添えるだろうか。この問いは、自分の福音理解と奉仕観がイエスさま的なのかを測る尺度です。イエスさまはユダを愛し抜かれた、イエスさまはどことんユダに寄り添われた、この事実はどこまでも残ります。

違和感もありました。ユダが裏切れなければ十字架はなかつたとすれば、ユダの人生は神の道具にすぎないのか。それならば神はあまり理不尽ではないのか。

あるとき、思い違いに気づきました。自分はユダと変わらない。ヨハネ二章がなければ、自分はこの世界にとどまつていなかつたかもしれません。しかし自分をペテロに重ねることで、「憐れみを受けた」自称勝ち組になりました。ところで、自分をペテロに重ねて受難週の記事を読んでみると合点が行きました。「情けない」と思っていましたが、自分をユダに恵みの世界が見える気がしました。

自分はユダと変わらないという納得に立つと、奉仕者として次のことには気づいていませんでした。

「すぐしなさい」

(ヨハネ一三・27)

自分の福音理解が最も問われるのは、弱さ・失敗をどのように考えるか、その中でも特にイスカリオテ・ユダをどう見るかでしょう。

ヨハネ二章がなければ、自分はこの世界にとどまつていなかつたかもしれません。しかし自分をペテロに重ねることで、「憐れみを受けた」自称勝ち組になりました。ところで、自分をペテロに重ねて受難週の記事を読んでみると合点が行きました。「情けない」と思っていましたが、自分をユダに恵みの世界が見える気がしました。

福音派は、ユダを裁く心理の裏返しに過ぎず、ユダを裁く罪がイエスさまを十字架に追いやっていることは気づいていませんでした。

福音／ユダを神学する

院長・河村 徹彦

聖宣神学院報



Immanuel
Bible
Training
College



ペテルハウス玄関のプレートです

添えるだろうか。そうでなければ、どこか偽りな気がします。

牧会臨床の世界で再考を促されているのが自死の問題です。個々の事例を「自死＝罪」という構図で片づけてよいのか。この問題についてキリスト教界は必ずしも対応ではありませんでした。イエスさまの恵みはどこまで届くのか。制限を設けているのは人間ではないのか。避けるべきことですが、ユダの生きた世界は究極の当事者です。人間にできることは、当事者に寄り添えるだけです。

自分はユダに寄り添えるだろうか。この問いは、自分の福音理解と奉仕観がイエスさま的なのかを測る尺度です。イエスさまはユダを愛し抜かれた、イエスさまはどことんユダに寄り添われた、この事実はどこまでも残ります。

違和感もありました。ユダが裏切れなければ十字架はなかつたとすれば、ユダの人生は神の道具にすぎないのか。それならば神はあまり理不尽ではないのか。

あるとき、思い違いに気づきました。自分はユダと変わらない。ヨハネ二章がなければ、自分はこの世界にとどまつていなかつたかもしれません。しかし自分をペテロに重ねることで、「憐れみを受けた」自称勝ち組になりました。ところで、自分をペテロに重ねて受難週の記事を読んでみると合点が行きました。「情けない」と思っていましたが、自分をユダに恵みの世界が見える気がしました。

自分はユダと変わらないという納得に立つと、奉仕者として次のことには気づいていませんでした。

福音派は、様々なルーツから派生していますが、全体として一つのくくりに入れることができるような特徴を持つていました。①教派神学以上に聖書を重んじる傾向（これが聖書主義や後の聖書信仰につながります）、②個人の回心を重んじ、十字架の贖罪の強調、③愛の実践、④伝道です。

福音派と呼ばれるグループが妙に政治的な問題に介入していくことになります。共和党の保守的政権（ブッシュやトランプ）の後ろ盾にいつも「福音派」という言葉がニュースに流れます。それは、福音派の本質から考えれば、異常事態です。福音派はそもそも、福音に基づいて国の方針や社会問題に關して、もっぱら弱者の側に立ち、愛の実践として行動することがそのモットーであったはずなのに！

しかし、私たちこそがアメリカを作ったという誤った意識に固まっていたら、極右的行動の後ろ盾となってしまうのでしょうか。

福音派は、国教会、すなわち「政

神学エッセー

福音主義キリスト教の始まり

②福音派の特徴とは何か



藤 满

府」との結びつきを断つたわけですから、基本的に政府の政策や社会の現状の中で、福音にそぐわないことに対する自由に反対意見を述べる立場にいました。

反対の、国教会を考えればわかれます。ドイツでは、第一次世界大戦と、その後のヒトラー政権の樹立にあたって、教会はその後ろ盾をしていました。国教会に対しては、このように国の傾向に迎合せざるを得なかつたわけです。

これに対して、福音派は福音に基づいて自由にものを言う立場になります。ところが、アメリカの福音派だけでは、少々勝手がちがあります。自分たちは国教会を出て、新しく教会を造ったという意識だけではなく、新しく「国家・社会を作った」という意識を強く持っています。

前回、福音派は国教会を離れた人々によって始まつたことを記しました。国教会を離れたということは、ドイツや北欧のルター派、イス・オランダ・スコットランドの改革派、英國の聖公会を離れたということです。教派的なルートは、ドイツとして、教派的制度はあったとしても、教派の制度はあったとしても、教派的の縛りや信条の厳格な規定から自由にされました。

この福音派は、様々なルーツから派生していますが、全体として一つのくくりに入れることができるような特徴を持つていました。福音派は、自分たちは国教会を出て、新しく教会を造ったという意識だけではなく、新しく「国家・社会を作った」という意識を強く持っています。

福音派と呼ばれるグループが妙に政治的な問題に介入していくことになります。共和党の保守的政権（ブッシュやトランプ）の後ろ盾にいつも「福音派」という言葉がニュースに流れます。それは、福音派の本質から考えれば、異常事態です。福音派はそもそも、福音に基づいて国の方針や社会問題に關して、もっぱら弱者の側に立ち、愛の実践として行動することがそのモットーであったはずなのに！

しかし、私たちこそがアメリカを作ったという誤った意識に固まっていたら、極右的行動の後ろ盾となってしまうのでしょうか。

れた器方の説教を日々聞く恵みに与りました。薦田院長、朝比奈寛先生、岩城幸策先生、薦田真実先生、竿代忠一先生などの説教を聞きながら、自らの説教の原型を作つて頂いたのも、この時期でした。自己流にならないように、神によつて路線を引いて頂いたのは、大きな恵みでした。

一人で遣わされ、看板を書き、説教の準備に当たりました。三年生は、大橋先生の病気代行で浦和教会で奉仕し、多くの恵みを受けました。

卒業後は、静岡・甲府・北九州で五十年間奉仕を許されました。基礎は全て神学院での経験に基づいています。「主は私の羊飼い」であり続けて下さいました。

11日につきては、主のみもとにて召され、様々な事柄には期限と時があることを深く思わされました。主に導かれて今があることを感謝しつつ、これからも決して変わることのない真実なイエスさまご自身を信頼して参りたいと思ひます。(ヨハネ一一章22節) 健康的には、主によつてリウマチが癒され感謝しております。

サポートーズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げつつ、6月の会計報告をさせて頂きます。

6月分支援実状 〔今年度毎月献金目標〕

教会員による
「神学院サポート献金」
¥ 802,425
教会団体による「神学院献金」
¥ 436,350
合計 ¥ 1,238,775
その他の献金（一時・特別）
¥ 411,765

· 振替 · 00230-0-10138

私が神学院に入学したのは、昭和四一年のことでした。その前年教団は創立二〇周年を祝い、全県攻略をほぼ達成し、燃えていました。

二年生の時に、ビリーグラハム大会が開催され、葛田初代院長の許、奇跡的と言える勝利を挙しました。

聖日の夜には、毎週ミッショントリニティ教会で、河村襄先生の授業で分解の宿題が出、各章を緻密に観察する習慣をつけて頂きました。また、ウエスレーの説教、院長のメソジズムを通して、奉仕の中心がここにある事を確信しました。4 伝える

手市に遣わされ、今年で24年目を迎えております。主の恵みとあわれみは尽きず、折々に必要な助けをいただいて参りました。取手教会は、中古のアパートの一階部分を改築して礼拝堂にしましたので、建物の老化問題を抱えています。そして、何よりこれから宣教への希望を持つて新会堂建築を祈り

私の神学生時代 すべては神学院から 18期生●松村伊作



神学院は学ぶ所ですが、まず祈りを教えられました。日々の密室

同窓生の近況

44 期生

取手シオン教会 ● 吉川あゆみ



聖靈の実け

女子寮監 河村みち

神学院は、一聖靈に満たされる
ということが奉仕の条件として
代々言つて來りました。

立70周年感謝献金目録を贈呈
B T C 後援会 中山朝雄

学苑だより

神学院スタッフ・恵みの想起

